

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	2 汚染水処理 (トリチウム処理等)
御提案件名	きぼうプロジェクト
御提案者	株式会社いぶきエステート 代表取締役 中村 望
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>※特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>微生物の排出する酵素を、特殊環境下で育成して酵素結晶を創り出し、生物触媒として利用しエネルギー転換を行うことで放射性物質を無害化する技術。</li> </ul> <p>※仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様としては、微生物プラント (8基)、物理フィルター (2基)、触媒フィルター (3基) からなる処理プラントです。</li> </ul> <p>※性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性能としては、放射性物質の転換率60～95%以上 (条件設定による違い) の除染が出来ます。</li> </ul> <p>※保有者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保有者は、株式会社いぶきエステート環境事業部</li> </ul>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</li> </ul> <p>技術開発は終わっていますが、処理対象物質ごと、情報づくりに3か月掛かり、その後の培養に3か月を要します。本件は、情報を創る技術であるため、放射性物質を含む無機物質及び有機物質も処理することができます。現在、静岡市のリネンサプライ工場で本技術を導入したプラントシステムが稼働中で、100%リサイクルしているにもかかわらず、7年間排出汚泥が出ていません。また、放射性物質で除染された果実畑 (福島県内) でも、高い除染効果をあげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発・実用化に向けた課題・留意点</li> </ul> <p>上記でも述べたように、「情報を創る技術」であるために、処理対象物の情報と、対象物を処理するための、「地場菌類に培養」しなければ、条件が整わない。</p>	

・その他（特許等を保有している場合の参照情報等）

特許等の保有はなし。

（備考）技術提案募集の内容（6分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）